

コンパクトシティ形成の実現方策

# 立地適正化計画

—都市構造評価と公共施設の再編・集約計画策定手法と具現化

■ 都市構造評価の主要指標と現況値・将来値・行政コストの推計方法

□ [埼玉・鶴ヶ島市等]産・学・官・民協働の公共施設再編の推進とまちの未来設計

■ [神奈川・秦野市]コンパクトシティ形成に向けた公共施設再配置計画と推進方策

□ [さいたま市]公共施設マネジメント計画の実効性—PPPと市民協働

2016年3月28日(月) 10:00~16:50 剛堂会館・会議室(東京・千代田区)

- 【講師陣】
- 川除 隆広** 氏 / (株)日建設計総合研究所 上席研究員
- 藤村 龍至** 氏 / 東洋大学 建築学科 専任講師  
藤村龍至建築設計事務所 代表
- 志村 高史** 氏 / 秦野市 政策部 公共施設再配置推進課 課長
- 関口 洋輔** 氏 / さいたま市 都市戦略本部 行財政改革推進部  
公共施設マネジメント推進担当 主任

■ 会場：剛堂会館・会議室  
東京都千代田区紀尾井町3-27  
TEL03-3234-7362 (案内図は申込後送付)

■ 参加費(1名分)

	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

メディア参加申込の方へは研修会開催後にCD(講演音声収録)と資料及び請求書をお送り致します。当日参加で申込後にご都合が悪く欠席される場合にはメディア参加とさせていただきます。

■ 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い  
みずほ銀行麹町支店 普通1159880  
三井住友銀行麹町支店 普通7411658  
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767  
郵便振替:00110-8-81660 口座名:地域科学研究会

■ 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい  
(FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える  
**地域科学研究会**

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106  
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082  
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX: 03-3234-4993 Email: machi@chiikikagaku-k.co.jp 2016年 月 日

■ 研修会『立地適正化計画—都市構造評価と公共施設再編・集約計画』 □ 当日参加 □ メディア参加

勤務先 \_\_\_\_\_ 連絡担当者 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 所属部課役職名 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Email \_\_\_\_\_

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

(請求書等宛先名)

※ご記入いただいた個人情報、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:30	<p><b>立地適正化計画に向けた都市構造評価に関する分析方法</b></p> <p>(株)日建設計総合研究所 上席研究員 <b>川除 隆広 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.都市構造評価のアウトライン</li> <li>2.評価分野と評価の視点</li> <li>3.都市構造評価の主要指標例</li> <li>4.現況値の算定方法と将来値の推計方法</li> <li>5.都市構造変化を考慮した行政コストの推計方法</li> </ol> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;川除氏プロフィール&gt; 1995年東京理科大学大学院修士課程修了、2001年京都大学大学院博士課程修了。博士(工学)、技術士(総合技術監理部門)。株式会社日建設計、株式会社日建設計シビルを経て、現職。専門は、都市計画、都市情報分析、事業評価、官民連携事業等。著書に「スマートシティはどうつくる?」(分担執筆、2014年、工作舎)。</p> </div>
12:20 ～ 13:50	<p><b>公共施設マネジメントから考える郊外都市の将来像</b></p> <p>東洋大学建築学科専任講師 藤村龍至建築設計事務所代表 <b>藤村 龍至 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鶴ヶ島プロジェクト—施設マネジメントの課題を可視化</li> <li>2. 大宮東口プロジェクト—開発にも前向きな合意形成</li> <li>3. 郊外都市の今後の課題</li> <li>4. 産学官民プロジェクトの組み立て方</li> </ol> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;藤村氏プロフィール&gt; 2005年より藤村龍至建築設計事務所主宰。2010年より東洋大学専任講師。主なプロジェクトに「鶴ヶ島プロジェクト」、「大宮東口プロジェクト」、岡崎市「おとがわプロジェクト」、建築作品に「鶴ヶ島太陽光発電所・環境教育施設」(2014)など。主な著書に『批判的工学主義の建築』(2014)など。近年は建築設計に加え、公共施設の老朽化と財政問題の解決を図るシティマネジメントなど、広く社会に開かれたプロジェクトを展開している。</p> </div>
14:00 ～ 15:20	<p><b>[神奈川・秦野市]</b> <b>公共施設更新問題を解決するコンパクトなまちづくり</b> ～秦野市の取組みと日本のハコモノ事情から～</p> <p>秦野市 公共施設再配置推進課長 <b>志村 高史 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.なぜコンパクトなまちづくりが必要になるのか</li> <li>2.公共施設の再配置(秦野市の取組み)       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)方針と計画の内容</li> <li>(2)集約を進めるための具体的事例</li> </ol> </li> <li>3.日本のハコモノ事情から</li> </ol> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
15:30 ～ 16:50	<p><b>[さいたま市] 公共施設マネジメントの取組み</b></p> <p>さいたま市 公共施設マネジメント推進担当主任 <b>関口 洋輔 氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.さいたま市公共施設マネジメント計画の内容</li> <li>2.計画の実効性確保に向けて       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)公共施設整備事前協議によるガバメント</li> <li>(2)公民連携(PPP)による推進</li> <li>(3)市民との協働による推進</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>